



平成27年度まちづくり講演会及び表彰式

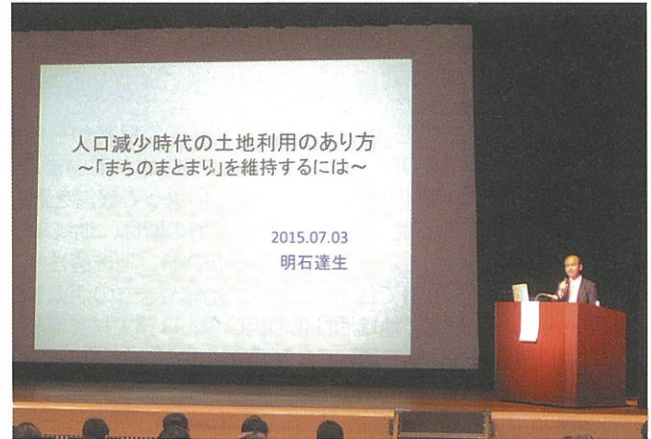
群馬県 県土整備部 都市計画課 まちづくり室 企画推進係

群馬県都市計画協会と群馬県主催による「まちづくり講演会及び表彰式」が平成27年7月3日(金)、群馬会館(2階)ホールで開催されました。

まちのまとまりを維持していくための土地利用のあり方について、『人口減少時代の土地利用のあり方』と題して、東京都市大学都市生活部の明石達生教授にご講演いただきました。

講演の中で、まちのまとまりを維持していくため、3つの都市計画関連の法令の整備が行われており、人口減少の中、公共交通や公共施設の運営・維持更新投資の計画が真に効果を持つものにできるかどうかは、単なるトレンドを超えて、地理的な人口配置のメリハリを政策的に想定できるかがカギであると述べられました。

また、群馬県における「まちのまとまり」の魅力を高める施策の参考として、アクションプログラムを策定した前橋市に事例紹介をしていただきました。さらに、渋川市が都市再生整備計画事業で整備しました、伊香保石段街地区(石段アルウィン公園)が平成27年度都市景観大賞(都市空間部門)優秀賞を受賞しましたので、その取り組みについて事例紹介をしていただきました。



「群馬県まちづくり功労者表彰」は、いせさき街並み研究会が表彰されました！

群馬県まちづくり功労者とは、魅力あるまちづくりの推進に顕著な功績のあった個人、団体もしくは市町村に対し、群馬県知事より感謝状を贈呈するものです。

今年度受賞者のいせさき街並み研究会(会長 栗原^{あきのり}明矩様)は、平成15年に伊勢崎市内の建築士を中心として設立され、いせさきらしさを建築・都市・街並みの視点から考え、地域文化財や歴史的環境を調査し、その価値や魅力の発信、それらの活用の提案等に主体的に取り組み、地域の既存施設の魅力の向上など、市民主体の地域づくり、まちづくりに多大な貢献をされていることから、今回の受賞となりました。

「群馬県まちづくりファシリテーター」に23名の方々が認定されました。

ファシリテーターとは、「交渉などを円滑にする」という意味を持ち、ワークショップの開催・進行にあたり、参加者の意見を引き出して議論を円滑に進める補助者・調整役のことです。群馬県ではパートナーネットワーク講座を開催し、入門編・発展編・応用編を全て受講された方には、県内のまちづくりを担う人材として群馬県知事より「群馬県まちづくりファシリテーター」の称号を授与しています。今年度認定者は下記の通りです。



- | | | |
|---------|---------|---------|
| 萩原 香さん | 真下 和之さん | 藤守 崇洋さん |
| 太田 隆恵さん | 奥野 雄一さん | 福田 知久さん |
| 吹上京之介さん | 須永 雄大さん | 小林 一也さん |
| 佐藤 杏里さん | 柴田 佳緯さん | 松本 雅洋さん |
| 浜崎 進さん | 小林 正幸さん | 山崎 勉さん |
| 吉村幸太郎さん | 井上 尚政さん | 新島 輝之さん |
| 椿 善光さん | 黒沼貴美子さん | 木暮 傑さん |
| 佐藤 梨奈さん | 鈴木 ふみさん | 以上23名 |

